



横浜市立大曽根小学校

学校HP



学校だより 10月号

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/osone/>

令和8年9月30日

TEL 542-1785

FAX 541-0949

傘かしげは心かしげ

校長 小嶋 千里

秋の長雨がが続いています。登下校の時間帯には、色とりどりの傘が校庭や通学路を行き交う光景が見られます。

「傘かしげ」という江戸しぐさをご存知でしょうか。雨の日に道で人とすれ違う際、お互いの傘を少し外側に傾け、相手に雨のしずくがかからないようにする心遣い입니다。ほんの小さな仕草ですが、そこには相手を思いやる優しい気持ちが込められています。先日、この「傘かし



雨の登校風景。元気いっぱいのあいさつが気持ちよいです。

げ」の話を子どもたちにしました。すると数日後、高学年の児童が嬉しそうにやって来て、「校長先生、『傘かしげ』をやってみました。そうしたら相手の人も傘を傾けてくれました」と話してくれました。その話を聞いて、私はとても温かい気持ちになりました。思いやりは、誰か一人の行動で終わるものではありません。相手を大切にする気持ちは人から人へ伝わり、やがて周りを温かくしていきます。その児童は、「傘かしげ」の意味を理解しただけでなく、実際に行動に移し、その温かさを感じ取ってくれたのです。子どもたちもよく利用する大綱橋では、歩行者やベビーカーを押す方、自転車に乗る方など、さまざまな人が行き交います。橋の上では自然と譲り合い、傘をかしげ合う光景が見られます。子どもたちは、そうした地域の方々の何気ない振る舞いに日々触れながら、思いやりや気遣いの心を自然と身に付けているのでしょう。

人を大切に思う心は、誰かから教わるだけで育つものではありません。学校や家庭、地域の中で多くの人の姿に触れ、優しさを受け取り、自ら実践することで育まれていくものです。地域の大人たちの温かな振る舞いは、子どもたちにとって何よりのお手本となっています。大曽根は本当に素敵なまちです。9月のお祭り、10月の健民祭、11月のハートフルコンサートと秋の地域行事も続きます。子どもたちが地域の温かさを受け継ぎ、また次の世代へとつないでいくことを願っています。

10月24日にはスポーツフェスティバルを行います。子どもたちは仲間と励まし合いながら、それぞれの目標に向かって練習に取り組んでいます。当日は、競技の結果だけでなく、力いっぱい挑戦する姿や友達を応援する姿、そして仲間と協力する姿にも注目していただければと思います。大曽根の子どもたちの輝く姿を、ぜひご覧ください。多くの皆様のご来校をお待ちしております。